

「星の降る里」を生かして 観光のまちづくりを創造

星の降る里

「芦別」という地名は、市域南端から中部にかけて南北に貫流する芦別川に由来します。また「芦別」とはアシユペツ・アイヌ語で、アシユ（切り立つ）ベツ（河）、つまり「川底深く険しいところ」を意味します。

芦別市は、明治26年山形県からの移住者により開拓の鍬が入られ、以来、富山・石川・福井県などからの移住者により開拓が進められ、農業、林業および石炭鉱業を経済の基盤の中心として発展しました。しかし、エネルギー消費構造の変革に伴い、石炭産業は衰退し、最盛期には7万5000人あった人口が今では1万4000人にまで減少しました。

石炭産業が厳しい状況に置かれ

た中で、まちを再活性化させるために企業誘致や観光開発に力を入れ、美しい自然と澄みきった空、降るように美しい星がまたたく夜空といった自然環境を生かし、星の持つ無限の愛とロマンに着目した観光のまちづくりを目指し、



重さ約1tの“健夏山笠”を曳いて街中を疾走する「芦別健夏まつり」

「星の降る里」を宣言（昭和59年）しました。また、「全国星空の街・あおぞらの街コンテスト」では、環境省（当時環境庁）から「星空の街」に認定（昭和63年）されました。今では、「星の降る里」のキャッチフレーズは、観光の枠を越えさ



7月にはじゃがいもの花で丘が白く染まる「新城峠」

災害の少ない立地条件と 自然環境

さまざまな場面で用いられ、実質ともに芦別市のイメージとして広く浸透しています。

周囲が緑深い山岳・丘陵に囲まれているため、四季を通して温暖で、積雪量は比較的少なく、また、風速も年間平均2mで、冬季における吹雪もほとんどないため、快適な市民生活が営まれておりま



芦別市の特別名勝の一つ「三段滝」

す。さらに平成6年の観測開始から現在に至るまで、震度4以上の地震発生がなく、全国を見ても極めて地震の少ない地域です。こうした自然・気象は、精密機械工業、IT関連企業などには最適な条件と言われている。

恵まれた立地条件と自然条件を生かし、積極的に企業誘致に取り組みできた結果、精密機械工業、電機機械工業等の企業進出があり各企業においては、本市を生産拠点として発展させております。

合宿の里あしべつでレベルアップを！

本市は平成10年に全日本女子バレーボール合宿のホームタウンに認定されたことを契機にスポーツ



市街地から約3km南に位置し、上芦別町の住宅地に隣接する「芦別工業団地」

合宿の受け入れによる街おこし「合宿の里構想」を立ち上げ、北海道内の学生や一般の競技団体をはじめ、実業団、国内外のナショナルチームまで幅広い合宿を受け入れてきました。現在では、なまこ山総合運動公園を中心としたスポーツ施設に、バレーボール、陸上競技場、サッカー、野球など、年間約1万1000人のスポーツ合宿を受け入れています。

星がきらめく、やすらぎのリゾート地

芦別温泉一帯は、温泉やホテルのほか、パークゴルフ場、陶芸センター、油谷体育館、プール、テ



なまこ山総合運動公園内にある「芦別市総合体育館」

ニスコート、オートキャンプ場および花木園、などを集約した一大ヘルシーリゾート空間です。

芦別温泉は神経痛や糖尿病等に効能があるほか、「化粧の湯」といわれるほど肌がしつとりと潤う温泉、充実した各種施設を有することから、北海道で唯一、国民保健

プロフィール

- ◆ 面積 865・02km²
- ◆ 人口 1万4702人
- ◆ 世帯数 8011世帯

〔まちの特徴〕北海道のほぼ中央に位置しており、東西に24・96km、南北に48・65kmにも及ぶ広大な土地を有しています。そのうち、約88%は森林で、南東から北西にかけて空知川が流れ豊かな自然に恵まれ、1年を通して四季の変化が明瞭な地域です。

〔特産品〕米、じゃがいも、花き、カボチャ、ゆり根、メロン（青肉、赤肉）、ガタタン（とろみのついたスープ）、木工クラフト製品

〔観光〕道の駅スタープラザ芦別、星



芦別市長
今野 宏

温泉地に指定されていて、他ではなかなか味わうことのできない価値の高い温泉です。

スポーツを楽しみ、温泉で疲れた体を和らげ、自然の花々に心を癒やす快適なひと時を演出するさまざまな快適空間をぜひお楽しみください。

の降る里百年記念館、芦別温泉、芦別市芸術文化交流館（芸術の郷しんじょう）、カナディアンワールド公園、旭ヶ丘公園、黄金水松、空知大滝、三段滝〔イベント〕芦別最大イベント「芦別健夏まつり」、星が輝く夜空に約5,000発の花火を打ち上げる「キラキラフェスタ」、元氣森森まつり、農業まつり、国際友好ジャンボかぼちゃ祭り



※ 面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

「新宿力」で創造する やすらぎとにぎわいのまち

世界に名だたる
「SHINJUKU」

巨大なターミナルである新宿駅の乗降客数は1日当たり約360万人です。高層ビルが建ち並び、近未来的な風景を織りなすオフィス街、デパートが連なる買物空間、世界的に有名な歌舞伎町など、それぞれの地域が魅力を放っています。

また、新宿は、「TOHOシネマズ新宿」をはじめ、「新宿ピカデリー」や「新宿バルト9」など観客動員数やスクリーン数で全国を代表するシネコンが集積するシネマのメッカでもあります。

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催

4年後には、東京2020オリ

ンピック・パラリンピックが開催されます。開会式の会場となる新国立競技場を擁する地元自治体の

本区は、歩いて楽しいまちづくりを進めるとともに、文化・観光・スポーツ、都市基盤整備、商店街や産業振興などの施策を推進し、国際都市・新宿としての魅力とブランド力をさらに向上させます。

ハード面では「歩きたくなるまち新宿」を目指し、新宿駅の東西自由通路を整備するほか、外国人観光客が新宿の魅力を堪能することができ、観光バス駐車場を整備します。

ソフト面では、民間企業の方々や講師となり商店街や個店舗を対象に、おもてなしについて講義する「新宿おもてなし大学」を開講し、「おもてなし1番の新宿」を目指しています。また、子どもたち

が、自分たちの住むまちに愛着と誇りを持って外国人観光客を迎えることができるよう、英語力強化、多様性の理解などを学ぶことができる機会を創出しています。

伝統と最先端が融合する、文化の薫り高いまち

さまざまな人が集まる新宿のまちは、伝統の文化を守りながら、最先端の文化を創造・発信しています。新宿ゆかりの文豪・夏目漱石や、坪内逍遙の文芸協会、芸術座に集まった演劇関係者など、数多くの文化人が、あまたの作品を残しました。現代では、染色や印刷などの地場産業をはじめ、映画・アニメ・お笑いなど、多様な文化や芸術が生まれ続けています。現在、本区では夏目漱石生誕150周年に向けて（仮称）「漱石山房」記念

館を整備しています。

また、新宿には、にぎわいイベントとして「新宿芸術天国」「新宿シテイハーフマラソン」「新宿エイサーまつり」などがあり、たくさんの方が集うエネルギーが溢れるまちといえます。

ゴジラを新宿観光特使に任命

本区は、ゴジラに特別住民票を交付し、新宿観光特使に任命しました。誰もが安心して楽しめる歌舞伎町のまちの実現に向け「歌舞伎町ルネッサンス」を推進し、官



ゴジラヘッド ©TOHO CO., LTD.



防犯マスコットキャラクター
「新宿シンちゃん」

「新宿シンちゃん」は、新宿区名譽区民である故やなせたかしさに作っ

民が一体となって新たな文化の創造・発信とにぎわいづくりに取り組んでいます。世界に名をとどろかせる怪獣「ゴジラ」を歌舞伎町の新たなシンボルとして、国際観光都市・新宿の魅力を発信することで、さらなるにぎわいが生まれています。

安全・安心の コミュニティタウン

本区では、災害に強い都市づくりや地域ぐるみで防災に取り組み体制づくりを進めているほか、建築物などの耐震化支援、細街路の拡幅整備の促進等を推進しています。また、子どもや高齢者の安全を守るため、関係機関や地域と連携しながら、防犯パトロールや見守り活動などを実施しています。

本区には、新宿の子どもたちを守る防犯キャラクター「新宿シンちゃん」がいます。この「新宿シン

ていただいたもので、本区の安全安心に欠かせないキャラクターとなっています。

また、本区では、誰もが安心して楽しめるまちの実現を目指し、「公共の場所における客引き行為等の防止に関する条例」を制定しました。

警察や商店会と連携し、パトロール活動に取り組み、客引きの減少に努め、本年6月からは、指導などに従わない場合には、過料を科す罰則規定を施行しました。

多様な文化を認め合う グローバルなまち

本区には、約3万8000人（国籍数は、約120）の外国人がおり、区民の約11%です。多くの外国人が生活の場として本区を選んでいいることを、住み良さの表れであり区の特性ととらえています。多文化共生を推進するための「しんじゆく多文化共生プラザ」では、日本文化や地域の情報を収集・交換する取り組みを行っています。また、生活情報や日本の習慣・ルールを分かりやすく解説した新宿生活スタートブックを配付し、情報提供を行っています。

おわりに

私は、平成26年に区長に就任し、重点的に取り組む施策を「5つの基本政策」としてまとめました。「I…暮らしやすさ1番の新宿」「II…新宿の高度防災都市化と安全安心の強化」「III…賑わい都市・新宿の創造」「IV…健全な区財政の

プロフィール

- ◆ 面積 18・22 km²
- ◆ 人口 33万7808人
- ◆ 世帯数 21万3154世帯

〔将来都市像〕「新宿力」で創造する、やすらぎとにぎわいのまち

〔まちの特徴〕日本有数のショッピング街や繁華街である新宿駅周辺、新宿御苑やおとめ山公園などの緑豊かな自然、江戸の風情薫る粋なまち神楽坂など、多様な顔を持つ魅力あふれるまち
〔特産品〕東京手描き友禅、東京染小紋、江戸更紗、内藤とうがらし、早稲田みょうが



新宿区長
吉住健一



〔観光〕歌舞伎町ゴジラ通り、西新宿高層ビル街、新宿御苑、江戸城外濠跡、おとめ山公園、神楽坂かくれんぼ横丁（石畳と黒塀）、新宿中央公園、新宿末広亭、林美美子記念館、漱石公園、（仮称）「漱石山房」記念館（平成29年9月開館予定）

〔イベント〕新宿芸術天国、大新宿区まつりふれあいフェスタ、新宿クリエイターズフェスタ、新宿シテイハーフラソン、新宿エイサーまつり

確立」V…好感度1番の区役所」の5つです。この5つの基本政策を基に、新たな総合計画を策定し、新宿のまちを「若い世代が安心して子育てをすることができるといえるまち」「新宿の強みを活かし、誰もが住みたい、住み続けたいと思えるまち」に、さらに発展させていきます。

※ 面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

市民力で切り拓く亀岡新時代

はじめに

この亀岡の地は、京都、大阪に隣接し、奈良時代には丹波国府が置かれ、平安時代、都が京都に遷ると都に隣接した要所として時代の転換期に顔を出すようになり、鎌倉時代末期、足利尊氏が一念発起し旗揚げをした場所は、亀岡の篠町に鎮座する篠村八幡宮です。また、日本の歴史上最大の謎とされる「本能寺の変」においても、明智光秀が本能寺で織田信長を討つことを決意し出立したのは、亀岡にある丹波亀山城でした。

時代の転換点として歴史にかかわってきた亀岡の地で、私は、新たな亀岡市の時代の幕開けを担うことを決意し、市政運営を行っています。

亀岡新時代

私は、平成27年11月の市長就任時、「亀岡新時代」の幕開けを宣言しました。地方行政にとっては、財政面をはじめ、大変厳しい時代を迎えています。しかし、厳しいことを理由に消極的な意識にとらわれた行政運営をしていては、市民の信頼を得ることはできません。厳しい時代であるからこそ、柔軟な発想と積極的な行動、新しい価値観で工夫し、各種取り組みを進めていくことが重要です。

本市では、京都府の球技専用スタジアムの建設地が、自然との共生を打ち立てる中、国の天然記念物アユモドキ保護の観点から、当初計画地を変更し、まちの玄関口であるJR亀岡駅北側すぐの立地に決定しました。亀岡駅北側では

現在土地区画整理事業も進行中であり、当施設との連携で生じる新たなにぎわい効果は計り知れませんが、こうした魅力溢れる施設を介した交流人口の増加は、本市を身近に感じていただく絶対機となるものと期待しています。

また、市政の主役は「市民」です。市民目線での取り組みはもちろん、各種取り組みは、市民を巻き込んだムーブメントでなければなりません。

スタジアムを核とした新しいまちづくりをはじめ、さまざまな取り組みを市民とともに創出していく過程で、次の新たな取り組みが生まれ、さらなる市民、組織、資源のつながりへと広がっていく、そうした相乗効果の連鎖がこれからのまちを築く礎になると確信しています。新たな視点をもって、

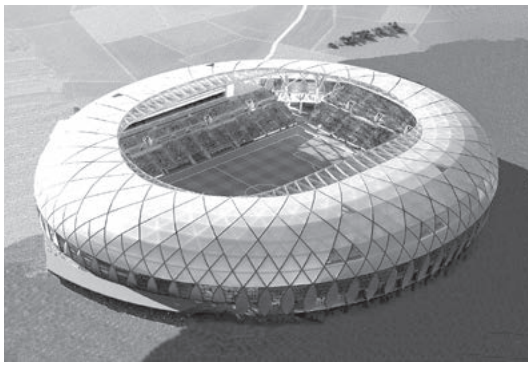
市民力を結集し、輝く新時代を切り拓いていきます。

新たな視点で価値の転換

亀岡は、秋から冬にかけて盆地特有の深い霧に包まれます。霧は、日光を遮り、気温の上昇を妨げるなど、あまり良いイメージを抱かれていません。

しかし、見方を変えれば、霧の素晴らしさは、たくさん見つかります。例えば、聖護院かぶに代表される京野菜の産地として知られる本市ですが、その素晴らしい野菜の生育には、霧を発生させるほどの大きな寒暖差が生じる特有の気候が一役買っています。まさに霧は、はぐくんだ恵みと言えます。

また、霧に包まれた亀岡のまちに一歩足を踏み入れると、その幻想的かつ神秘的な風景に胸を打たれます。保津川の渓流を船で下る亀岡観光の代名詞の一つ、保津川下りでは、その時期「霧の保津川下り」と銘打ち、水墨画の世界を彷彿とさせる霧の中の船下りで好



京都府の球技専用スタジアム「京都スタジアム」(仮称)のイメージ図
※決定したものではなく、変更されることがあります

行政運営の根幹にある「市民の安全安心」を忘れてはなりません。本市は平成20年に日本初の「セーフコミュニティ

昨今の厳しい社会情勢を乗り切るには、新たな視点、変革が必要

安全安心のまちへ

共有したいと考えています。マイナスとしてとらえられる地域の事象を、地域固有の大切な資源としてプラスに転換し活用していく、こうした視点がこれからのまちづくりには必要だと考えています。

評を得ています。

さらに、周囲の山の高台からは、亀岡のまちを覆い雄大に波打つ雲海を望むことができます。

本市では、今後、雲海テラス(仮称)の設置を計画しており、この壮大な風景を一人でも多くの方と共有したいと考えています。

マイナスとしてとらえられる地域の事象を、地域固有の大切な資源としてプラスに転換し活用していく、こうした視点がこれからのまちづくりには必要だと考えています。

ティ」WHO認証を取得しました。

「セーフコミュニティ」とは、事故やケガは偶然に起こるのではなく予防することができる、という考えに基づき、市民・団体・行政などが協働で進める取り組みです。地域における危険個所の洗い出しや分析、医療機関、警察、消防など多くの団体が参画する横断的な協議会の設置など、この取り組みを通して市民協働による安全安心のきめ細かなセーフティネット整備を実現しました。平成25年には再認証を取得し、さらなるプログラムの充実、そして市民の安全安心の推進に努め、取り組みを継続していきます。

地域を挙げて、共に考え、行動し、安全安心のまちづくりを進めています。

地域を挙げて、共に考え、行動し、安全安心のまちづくりを進めています。

行政運営の根幹にある「市民の安全安心」を忘れてはなりません。本市は平成20年に日本初の「セーフコミュニティ

選ばれるまち・住み続けたいまちへ

昭和30年の市制施行以来、増加していた人口も平成13年を頂点に減少に転じました。

ほかの自治体同様、定住促進や少子化対策が喫緊の課題です。

本市においては、近年、J R 嵯峨野線複線化、京都縦貫自動車道

の全線開通など交通網の整備が進みました。結果、隣接する京都、大阪都市圏との時間的距離が大きく縮み、通勤圏としての魅力を帯びてきたと感じています。一方で、豊かな保津川の水源、その恵みを受け広がる田畑、そしてのかな里山が広がり、魅力溢れる自然景観を有しています。仕事は都市圏、子育ては豊かな自然の中で伸び伸びと、人と人との温もりを

プロフィール

- ◆面積 224.80km²
- ◆人口 9万565人
- ◆世帯数 3万8490世帯

〔将来都市像〕水・緑・文化が織りなす 笑顔と共生のまち かもおかくセーフコミュニティの推進とにぎわいのまちづくり

〔まちの特徴〕保津川の清流、四季折々の豊かな自然に恵まれた歴史と文化の息づくまちであり、京都丹波・京野菜の産地



亀岡市長 桂川孝裕



〔特産品〕亀岡牛、丹波松茸、丹波大納言小豆、伝統京野菜、丹波栗、天然砥石
〔観光〕保津川下り、湯の花温泉、穴太寺、亀山城跡、丹波国分寺跡、トロッコ列車
〔イベント〕亀岡光秀まつり、ぎきょうの里、亀岡大踊り大会、保津川市民花火大会、京都丹波/亀岡「夢コスモス園」、亀岡祭

感じながら、四季折々の自然の恵みを楽しむ。忙しい日々の中、心に疲れを抱える現代社会において、絶妙なワーク・ライフバランスを実現できる好環境です。子育て世代をはじめ、多くの方にご利用した魅力を積極的に発信するとともに、各種施策を交え「選ばれるまち・住み続けたいまち」、そして新たな亀岡市の実現に邁進していきます。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

すべての子どもに 人生のチャンスと可能性

「2016年住みたい
田舎ベストランキング」で
全国3位

武雄市は、佐賀県の西部にある
人口約5万人の温泉都市で、平成
18年3月1日に旧武雄市・山内町・
北方町の1市2町が合併し、本年
10周年を迎えました。

市の中心部には、船の形をした



市内全小中学生にタブレットを配布

シンボリックな山「御船山」、西部に
は谷を挟んで向き合う夫婦岩、
「21世紀に残したい日本の自然百
選」にも選ばれた「黒髪山」、樹齢
3000年を越える3本の大楠が
あり、雄大な山々と豊かな自然に
囲まれています。

また、1300年の歴史を誇る
温泉郷、400年以上の歴史を誇
る陶芸の里、そして巨木の里とし
ても広く知られ、季節を通して多
くの観光客でにぎわいます。

合併後、市民一丸で取り組んだ
テレビドラマロケ、市民病院民間
移譲など、より良い未来を目指
し、取り組んできました。その結
果、移住専門誌による「2016
年住みたい田舎ベストランキン
グ」で全国3位になるなど、市外
からも多くの方に注目いただい
ています。

圧倒的な教育環境を

すべての子どもたちに、ライフ
ステージに応じた育ちと学びの機
会と多様な選択肢を提供し、学ぶ
楽しさを生涯にわたって実感でき
る武雄市にしたい。そんな本市に
とって教育・子育ては一丁目一番
地。本市では教育委員会と密に組
んでさまざまな教育施策を展開し
ています。

その教育施策の一つとして、I
CTを活用した教育があります。

現在、市立の全小中学生にタブ
レット端末を配布し、「武雄式反転
授業」（本市ではスマイル学習と言
います）を行っています。ほかに
も、スカイプを活用したフィリッ
ンの先生との英会話授業や（株）
タニタとの協働による食育事業、
また（株）DeNAの協力で、平成

26年10月から、市内1小学校で1
年生から3年生を対象にプログラ
ミング教育を実施しています。

これらICTを活用した教育の
メリットとして、自己肯定感（自
尊感情）の養成や子ども一人一人
に合わせたきめ細かい学力の向
上、また情報化社会への対応力や
協働的問題解決能力、コミュニ
ケーション力といった21世紀型の
スキルの醸成が考えられます。

地域が学校に入る

もう一つの教育施策として官民
一体型学校があります。「官」のシ
ステムに、「民」のノウハウや活力
を融合させ、公教育のより一層の
充実を図ることを目的とし、当市
では、民間の学習塾「花まる学習
会」と連携
して取り組
み、本年4
月からは市
内5校の小
学校で実施
しています。



朝のモジュール授業の様子

代表的な内容としては、朝の時間（15分）を活用し、花まる学習会のメソッドを取り入れた反復練習を行う「モジュール学習」があります。ここでは、地域の皆さんにも協力いただき児童の答えに丸付けを行っていたり、四字熟語を声に出して覚えたり、計算問題を解いていくというものです。ほかにも学年縦割りの班編成を行い課題解決する「青空教室」などの授業も行っています。

官民一体型学校の取り組みは、当初、民間との連携をもって官民一体としていましたが、進めていく上で、協力をいただく地域の方との連携が大きくなるのを感じています。官民の「民」は、民間の「民」であり市民の「民」。地域が学校にかかわり、今後とも広がりを見せる官民一体型学校の可能性に期待しています。

地域コミュニティとしての図書館

平成25年4月1日より、カルチュア・コンビニエンス・クラブ（株）を指定管理者として運営している武雄市図書館は、今でも多くの来館者にぎわっています。

来館者は市内の方に限らず、市外からも来館されており、本市の新しい観光地としても定着しています。さらに、現在、親子が所在できる子育て支援の拠点として、こども図書館の建設計画を進めています。現在の図書館との相乗効果も生かしながら、「子育て応援機能を持った施設」「子供を中心に多世代が交流できる施設」など魅力あるゾーンを作り、親子が楽しく学べるワンランク上の子育ての拠点を目指します。

「子どもの未来を応援する首長連合」の設立

「子どもの貧困」については、経済的に豊かになったにもかかわらず、相対的貧困率は年々増加しており深刻な社会問題となっています。これは当市だけの話ではなく、日本全国の課題でもあります。子どもたちの未来の可能性を考えると決して環境によって制約を受けなくてはならない、特に教育の観点から貧困の連鎖を断ち切らなければならぬ、との意識からこの問題に力を入れていきます。

そこで、倉田箕面市長、田中八尾市長、菅谷古河市長、園田大村

市長、そして私が発起人となって、子どもの未来を応援する首長連合（子どもの貧困対策連合）を本年6月に設立し、知見の共有やさらには政策提言まで行おうと、全国の自治体の首長の皆さんに参加を呼び掛けました。その結果、短期間の呼び掛けにもかかわらず、160以上の自治体から参加表明が寄せられました。

首長連合は、今後、プラット

フォームとして、知見の共有のための都市規模別・地域別研修やシンポジウム、さらには国への政策提言も行っていきたいと考えています。子どもの貧困対策は、決して自治体のサービス競争に陥るのではなく、日本全体の底上げ、という意識が大事。子どもたちのため、多くの人たちと組んでいきたい。引き続き首長の皆さんのご参加をお待ちしています。

プロフィール

- ◆ 面積 195.44 km²
- ◆ 人口 4万9749人
- ◆ 世帯数 1万7878世帯

〔将来都市像〕住んで良かった、住みたいまち武雄

〔まちの特徴〕いで湯と陶芸のふるさと武雄市は、博多からJRで約1時間。今後、新庁舎、九州新幹線が開業予定

〔市町村合併〕平成18年3月1日

〔特産品〕陶芸品、竹細工、茶、いちご、



武雄市長
小松 政



米、チンゲン菜、若楠ポーク、黒米、佐賀牛、レモンガラス、猪肉

〔観光〕武雄温泉楼門、武雄の大楠、武雄市図書館、御船山楽園、飛龍窯、佐賀県立宇宙科学館、黒髪山

〔イベント〕TAKEO・世界一飛龍窯灯ろう祭り、物産まつり、黒髪の浪漫まつり、四季の丘フェスタinきたがた、ほたる祭り

※ 面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。